

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室でも貸出・返却できます。

おすすめの
新刊

『現場者(げんばもん) 300の顔をもつ男』
著/大杉 漣
出版社/文藝春秋

現場で喜び、現場で傷つき、現場で生きる。若き日の劇団時代から北野武映画の現場まで、唯一無二の存在感を放ってきた俳優・大杉漣の軌跡を描く。大杉弘美の特別寄稿も収録。



『志麻さんの自宅レシピ』
[作り置き]よりもカンタンでおいしい忙しい人でもちゃちゃっと作れるほめられごはん
著/タサン 志麻
出版社/講談社

帰宅後30分以内ですぐに夕食!なんちゃってローストビーフ丼、サバ缶とトマト缶のカレー、野菜のコンフィなど、フリーランスの伝説の家政婦・志麻さんが簡単でおいしいを紹介!



『まいにちがプレゼント』
作・絵/いもと ようこ
出版社/金の星社

毎日、新しい今日がやってきます。今日はどんどん過ぎていって、すぐに昨日になってしまいます。昨日はもうかえってきません。そして、明日のことは誰にも分かりません…。いもとようこが贈る、人生に大切なメッセージ。



『いいたいことがあります!』
著/魚住 直子
絵/西村 ツチカ
出版社/偕成社

陽菜子は、中学受験をひかえた小学6年生。勉強も家の手伝いもするよういわれているが、兄は家事をしなくていらしい。納得できない気持ちを抱えて過ごす陽菜子だが、ある日、不思議な女の子と出会う…。



『クリスマスの女の子』
作/ルーマー・ゴッデン
訳/久慈 美貴
絵/たかお ゆうこ
出版社/徳間書店

おもちゃ屋のショーウィンドウで買ってもらうのを待ち続ける人形と、身寄りの無い6歳の女の子の心温まる物語。原作発表から60年。日本語訳と装画・挿絵を新たに復刊されたクリスマスにぴったりの童話です。



『改訂版 ディズニー・ハッピーグリーティングカード』
出版社/ブティック社

大人気のディズニーキャラクターで、可愛いカードを作ってみましょう。はじめての人でも楽しめるシンプルなカードから、季節のイベントやお誕生日など特別な日に贈るカード等毎日のカードの作り方を紹介。



図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	毎週日曜 午後2時~
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	12日(水) 午前10時30分~
	「みんなdeシネマ」(COLAS平戸ホール) 「くみ割り人形」(洋画:108分)	8日(土)・27日(木) 午後2時~
	ライブラリーコンサート(平戸図書館) 「邦楽の夕べ」 出演:門屋尚三、松浦歌乃子、安永歌恵、簡歌晴、竹友会	22日(土) 午後7時~
永田記念図書館	クリスマスおたのしみ会	1日(土)
	おはなし会 (ふれあいセンター児童室)	8日(土)・15日(土)・22日(土) 午後2時~

今月の休館日 4日(火)、11日(火)、18日(火)、25日(火)、28日(金)~1月3日(木)

各図書館・図書室連絡先

平戸図書館	☎22-4017
永田記念図書館	☎28-0128
南部公民館図書室	☎27-0047
生月図書室	☎53-2111
田平町中央公民館図書室	☎57-0207
大島村公民館図書室	☎55-2511

図書館ホームページ

http://www.hirado-lib.jp
携帯電話からQRコードを読み込んで簡単にアクセスできます。



各地域の食生活改善推進員が紹介します! 21

今月のレシピ

健康ほけん課健康づくり班 ☎内線2546

『きんちゃくコロッケ』

【材料(4人分)】

油揚げ	8枚	塩こしょう	適量
じゃがいも	200g	薄口醤油	大さじ1
冷凍コーン	50g	砂糖	小さじ2
玉ねぎ	50g	合いびき肉	180g
にんじん	50g		

【作り方】

- 1 じゃがいもは皮をむき、水にさらす。柔らかくなるまで茹でる。ざるにあげ水気を切り、再び鍋に戻し水分をとばす。温かいうちにつぶす。
- 2 玉ねぎ、人参はみじん切りにする。
- 3 油なしで、合いびき肉を炒める。色が変わったら、②を加えさらに炒める。
- 4 火が通ったら、コーンを加えて炒め塩こしょう、薄口醤油、砂糖を加える。
- 5 ①のじゃがいもと④を混ぜる。
- 6 油揚げは、一辺を包丁で切り、袋状にあげ⑤の具を詰める。口の部分を爪楊枝で止めて、オープンで焼く。

【栄養(1人分)】

エネルギー 235kcal たんぱく質 11.8g 脂質 14.0g 塩分 1.1g



ヘルシーで簡単!

衣の代わりに油揚げを使うことで、衣付けの手間が省かれ簡単に作ることが出来ます。揚げずにオーブンで焼くのでカロリーも控えめ。子どもからお年寄りまで食べやすいコロッケです



大島支部 若芽会
たなか のりこ
田中 範子 さん

毎月19日は「食育の日」です!

遺産の保全と継承

今年の8月に開催した「世界遺産登録記念シンポジウム」の中で、真板昭夫先生(嵯峨美術大学名誉教授)は白幡洋三郎先生(国際日本文化研究センター名誉教授)の言葉を引用し「名園は最初から名園だったのでなく、初めは多くの欠点指摘され、後世の人が何代にもわたって手直しする中で引き継がれてきた結果である」と説きました。また「文化遺産とは、地域の人々が暮らしてきた結果として存在している。したがって文化遺産の持続的な保全と継承とは、時代に伴う社会の変化に対応しながら、常に新たな仕組みを築いていくための地域おこし戦略と重なる」と話

をしてくれました。「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産は、美しく壮大な建物や遺跡ではなく、見た目には一般的な風景の集落です。これらを支える社会に過疎化という波が押し寄せつつあることは、文化遺産の保全と継承において課題になっています。文化遺産として、変わらざるものを守り、継承していくために必要なことは何なのか。生活を営む人々の姿そのものが守るべき対象ならば、それをどのように支えていくのか。今後、平戸市の地域おこしの戦略をいかに打ち立て、生き生きとした集落をつくっていくかが大切になってきます。

世界遺産

vol.9

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産に関する情報をお知らせします。
☎文化交流課文化遺産班 ☎内線2277

春日集落の歩道管理



来訪者が歩きやすいように、歩道の清掃などを行いました。